

学校法人駒澤学園 中長期計画

第2次 中期計画

(2019年4月～2024年3月)

【2020年度 行動計画】

学校法人 駒澤学園

凡例

1. 本書は、学校法人駒澤学園第2次中期計画の「2020年度 行動計画」である。第2次中期計画の10の戦略プランごとに、「行動目標」、「将来的展望」に分けて、法人・各設置校・事務局が行うべき「行動計画」を記してある。

2. 本書の用語は、以下のように定義される。

「基本目標」：第2次中期計画で達成すべく設定された到達目標。

「行動目標」：早急に取り組まなければならない課題。

「将来的展望」：長期的な尺度で必要となる施策。

「行動目標」：当該年度に取り組むべき「行動目標」の課題、「将来的展望」の施策。

【全学】：法人・各設置校・事務局に取り組むべき事項。

【法人】：法人が中心となり取り組むべき事項。

【大学】：駒沢女子大学に取り組むべき事項。

【大学院】：駒沢女子大学大学院に取り組むべき事項。

【短大】：駒沢女子短期大学に取り組むべき事項。

【中学】：駒沢学園女子中学校に取り組むべき事項。

【高校】：駒沢学園女子高等学校に取り組むべき事項。

【幼稚園】：駒沢女子短期大学附属こまざわ幼稚園に取り組むべき事項。

【事務局】：事務局に取り組むべき事項。

index

1	一貫した駒女アイデンティティー教育の実践と展開	1頁
2	学生・生徒・園児の確保	2頁
3	教育の充実	6頁
4	研究の充実	10頁
5	学生・生徒・園児支援体制の充実	11頁
6	経営改革	14頁
7	人材の確保と育成	15頁
8	危機管理体制の確立	17頁
9	ステークホルダーとの連携強化	18頁
10	地域連携	20頁

1 一貫した駒女アイデンティティー教育の実践と展開

基本目標 建学の精神・教育理念をもとに全学が連携し、女子総合学園としての一体性を確保する。

行動目標	2020年度の行動計画
1 駒沢学園 (Komajo) らしさの追求	<p>【全学】</p> <p>① 学園が求める教職員像の周知徹底 【2020年度の重点項目】 自校教育プログラム検討部会を組織し、学園が求める教職員像の周知徹底の具体的方策を検討し、実施する。</p> <p>② 自校教育プログラム導入に向けた取り組み 【2020年度の重点項目】 自校教育プログラム検討部会を組織し、学園史活動の体制づくりの検討に着手する。</p>
2 一貫した広報活動	<p>【全学】</p> <p>① 学園・各設置校の教育目的・教育目標の周知徹底 【2020年度の重点項目】 ・ 自校教育プログラム検討部会を組織し、教育目的・教育目標の周知徹底の具体的方策を検討し、実施する。</p> <p>② 各設置校の学内情報共有化による連携強化 【2020年度の重点項目】 ・ 各設置校の広報担当・IR・広報部と情報共有のための具体的方策を検討し、実施する。</p> <p>③ 学園諸行事の広報と活性化 【2020年度の重点項目】 ・ IR・広報部等関連部署との学園諸行事の告知（ホームページへの掲出、ポスター掲示）の具体的方策を検討し、を実施する。 ・ 学園諸行事の解説物発行の検討に着手する。</p>
将来的展望	2020年度の行動計画
1 自校教育実施による活性化	<p>【全学】</p> <p>① 自校教育プログラムの開発と実施 【2020年度の重点項目】 ・ 自校教育プログラム検討部会を組織し、「駒女アイデンティティー教育」（自校教育プログラム）の検討に着手する。</p> <p>② 内部進学 of 恒常化 【2020年度の重点項目】 ・ 自校教育プログラム検討部会を組織し、内部進学率の向上のための方策を検討する。</p>

2 学生・生徒・園児の確保

基本目標 各設置校の教育水準を保ちつつ、安定的に学生・生徒・園児の定員を充足する。

行動目標	2020年度の行動計画
1 社会情勢に応じた入試形態の採用	【大学】 ① 人間総合学群の入試制度等の見直しと実施 【2020年度の重点項目】 ・ 2021年度の学群入試について、2020年度の志願者数の実績をふまえ数値目標を設定し、実施する。 ・ 2021年度総合選抜型試験、同年度大学入学共通テストへの対応を検討し、実施する。
	② 看護学部の入試選抜方法の見直しと実施 【2020年度の重点項目】 ・ 「看護学部志望理由書」の実施をふまえ検証を行う。 ・ 2021年度総合選抜型試験、同年度大学入学共通テストへの対応を検討し、実施する。
	③ 多様な学生募集のための入試制度の見直しと実施 【2020年度の重点項目】 ・ A0入試の志願者増につながる方策を検討し、実施する。 ・ 障がいのある学生受け入れのため、学内の協力体制を維持する。
	④ 編入学入試における入試選抜方法の見直しと実施 【2020年度の重点項目】 ・ 人間文化学類の編入生定員充足のための方策を検討し、実施する。
	【短大】 ① 保育科の入試選抜方法の見直し 【2020年度の重点項目】 ・ 保育科の定員充足のため、2021年度入試選抜方法を見直す。
	【中学・高校】 ① 入学者数増のための入試選抜・入試広報の見直しと実施 【2020年度の重点項目】 ・ 高校説明会の実施時期と内容、中学説明会の時間帯の見直し、実施する。 ・ ホームページ、Webを利用した情報発信を改善し、入試広報を強化する。 ・ 志願者増のため、東京都の稲城市・多摩市・町田市・八王子市・府中市・調布市、神奈川県川崎市・横浜市を重点地域として、入試広報を行う。また、他地域からの志願者増のための検討を行う。 ・ 学外の中学校教員への情報発信の強化と信頼関係を構築する。 ・ 塾訪問の工夫と入試における塾との連携を強化する。また塾説明会での参加者増を目指す。
	【幼稚園】 ① 定員数確保のための見直しと実施 【2020年度の重点項目】 ・ 幼稚園の定員数確保のため、2歳児教室の保育内容の充実を図る。 ② 幼児教育の拠点となるための情報発信の取り組み 【2020年度の重点項目】 ・ 幼稚園主催の講演会、短大保育科との連携による企画を実施する。

<p>2 オープンキャンパス等の見直しと実施</p>	<p>【大学】</p> <p>① オープンキャンパスの実施方法の見直し 【2020年度の重点項目】 ・ オープンキャンパス来場者数増のため、新たなプログラムを検討する。</p> <p>② WCVの見直し 【2020年度の重点項目】 ・ WCVの外部業者委託を改め、本学の特色を生かしたWCVを実施する。</p> <p>③ 入学前交流会の実施 【2020年度の重点項目】 ・ 入学予定者に効果的な企画を検討し、入学前交流会を実施する。</p> <p>④ 入学前学習の強化 【2020年度の重点項目】 ・ 2019年度の実績を検証し、より効果的な入学前課題を実施する。</p>
	<p>【短大】</p> <p>① オープンキャンパスの見直しと実施 【2020年度の重点項目】 ・ 2019年度の実績を検証し、オープンキャンパスの学科説明を刷新する。 ・ 保育科学生を登用し、オープンキャンパスを活性化する。</p> <p>② WCVの見直し 【2020年度の重点項目】 ・ 2019年度の実績を検証し、より効果的なWCVのプログラムを検討し、実施する。</p> <p>③ 入学前学習の強化 【2020年度の重点項目】 ・ 保育科独自の早期入学決定者向けの入学前プログラムを作成し、総合型選抜入試の受験生獲得を目指す。 ・ ピアノ個人レッスン、図書館利用、実習日誌作成を見据えた文章講座等、より実践的な入学前課題を検討し、実施する。</p>
	<p>【中学・高校】</p> <p>① オープンキャンパスの見直しと実施 【2020年度の重点項目】 ・ 2019年度の実績を検証し、オープンキャンパスのスケジュール、内容を検討し、実施する。</p>
	<p>【幼稚園】</p> <p>① 入園説明会・見学者対応の見直しと実施 【2020年度の重点項目】 ・ 入園説明会等の新規参加者を増やすための方策を検討し、実施する。。 ・ 参加者が安心して、集中できる入園説明会を開催する。</p>

<p>3 広報ツールの見直しと実施</p>	<p>【大学・短大】</p>
	<p>① 学校案内の見直しと実施 【2020年度の重点項目】 大学 ・ 2019年度の実績をふまえ、入試広報に効果のある学校案内を編集・発行する。 短大 ・ 2019年度の実績をふまえ、短大保育科の定員充足に効果のある学校案内・パンフレットの編集・発行を行う。</p> <p>② 各学類・学科のホームページの見直しと実施 【2020年度の重点項目】 大学 ・ 大学ホームページの統一と整合性を図るため、広報委員会と協力の上、ホームページの統一基準を整備する。 短大 ・ 短大保育科で志願者・入学者増につながるホームページを検討し、公開する。</p> <p>③ 高校訪問の見直しと実施 【2020年度の重点項目】 大学 ・ 2019年度の実績をふまえ、入試センターの協力のもと、高校との信頼関係を深め、志願者・入学者増に効果のある高校訪問を行う。 短大 ・ 2019年度の実績をふまえ、入試センターの協力のもと、高校との信頼関係を深め、志願者・入学者増に効果のある高校訪問を行う。</p> <p>④ 出前授業への教員派遣の検討 【2020年度の重点項目】 大学 ・ 入試センターとの連携のもと、大学の出前授業の方針について検討する。 短大 ・ 2019年度の実績をふまえ、入試センターとの連携により、重点的に出前授業・進路ガイダンスを行う高校について検討し、実施する。</p> <p>⑤ 保証人などのステークホルダーとの連携強化 【2020年度の重点項目】 大学 ・ 入試におけるステークホルダーの役割を検討し、効果的な入試広報を行う。 短大 ・ オープンキャンパスにおいて保護者対象のアンケートを実施し、広報ツールの見直しを行う。</p>
	<p>【中学・高校】</p>
	<p>① 入試広報ツールの見直しと実施 【2020年度の重点項目】 ・ 各教科の取り組み、駒女の魅力101ブランド等の取り組みをホームページで発信する。 ・ 受験雑誌への掲載記事内容を刷新する。 ・ 塾への積極的な広報活動を行う。</p>
	<p>【幼稚園】</p>
<p>① ホームページ・パンフレットの見直しと実施 【2020年度の重点項目】 ・ 園内の業務分担の明確化によるホームページへの迅速な記事掲載を行う。 ・ 日々の保育の取り組みのホームページアップを行う。</p>	

4 定員充足のための検討	【大学院】
	① 大学院仏教文化専攻の定員充足のための検討 【2020年度の重点項目】 ・ 大学院全体の将来構想の検討に着手する。
	【短大】
	① 短大保育科の定員充足のための検討 【2020年度の重点項目】 ・ 2019年度に将来構想委員会から提出された提言書をもとに、保育科で定員充足のための方策を検討し、改善案を策定する。
	【中学】
	① 中学校の定員充足のための検討 【2020年度の重点項目】 ・ 日常生活で自己をふりかえるプロジェクト ・ 学力向上のための取り組み ・ グローバル教育の取り組み
将来的展望	2020年度の行動計画
1 多様な学生を確保するための検討	【大学】
	① 生涯学習プログラムの検討 【2020年度の重点項目】 ・ 本学の特色を生かした生涯学習プログラムについて、検討する。
	【短大】
	① 生涯学習プログラムの検討 【2020年度の重点項目】 ・ 短大保育科の特色を生かした生涯学習プログラムについて、検討する。
	【中学・高校】
	① 正課以外の学習指導体制の検討 【2020年度の重点項目】 ・ 検定試験等の受験者数を増やすための環境を整備する。 ・ 検定試験等の合格率アップのための学習環境を整備する。

3 教育の充実

基本目標 各設置校の段階に即した基礎教育と、学生・生徒の意欲・要望に応じた教養・専門教育を実施する。

行動目標	2020年度の行動計画
1 教育の質の向上	<p>【大学】</p> <p>① 内部質保証の体制の実施と改善 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学的な内部質保証の周知徹底を図る。 ・ 各学群・学類、学部・学科単位の自己点検評価の運用方法を検討し、実施する。 ・ 学外者による定期的な外部評価体制を確立する。 <p>② 教育の質を保証するための仕組みの整備と実施 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生に対する学修到達度確認結果の個別フィードバック方法を検討し、実施する。 ・ 外部機関等の資格検定試験による学修効果の確認と結果報告に関する検討を行う。 <p>③ 教育改革の推進 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年度の「私立大学等改革総合支援事業（教育の質的転換）」の報告書の作成をもとに、本学の教育改革を推進する。 ・ 2022年度開講の人間総合学群・看護学部の新カリキュラムを検討し、完成する。 <p>【短大】</p> <p>① 内部質保証の整備と実施 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短大保育科の内部質保証のための外部評価委員による評価、現場経験のある専任教員による実習指導の質的向上、学内公開授業参観を実施する。 ・ 内部質保証のための取り組みの検証を行う。 <p>② 教育の質を保証するための仕組みの整備と実施 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育科の教育の質を保証するための卒業時アンケート等を実施する。 ・ 保育科の教育の質を保証するための取り組みについて検証する。 <p>③ 学生の基礎学力強化のための取り組み強化 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育科の入学生の基礎学力強化のため、入学前事前プログラムを実施する。 ・ 入学前事前プログラムの実施内容を検証し、見直しを行う。 <p>④ 教育改革の推進 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育科のGPA制度の基準を整備し、運用する。 ・ 卒業後アンケート調査結果を分析し、保育者養成カリキュラム、指導方法等への活用を検討する。

	<p>【中学・高校】</p> <p>① 教務研修会（外部講師を含む）・教員研修会の実施 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務研修会にて、「主体的に学習に取り組む姿勢」「学習評価」の教員スキルアップを目指す。 <p>② 教育の質の保証のための仕組みの整備と実施 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業アンケートの結果をふまえ、担当教員の検証を行い、保護者・生徒へのフィードバックについて検討し、実施する。 <p>【幼稚園】</p> <p>① 時代に応じた教育課程の再編成と教職員の共通理解の促進 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短大保育科教員・副園長との協力による個別の保育内容の改善を行う。 ・園内保育研修として、公開保育を実施する。 ・教職員の個別面談を実施する。 ・他園の公開保育に参加する。 <p>② 外部研修参加の促進とその報告会の実施 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の教育の質の向上のため、外部研修会への参加と報告会を実施する。 <p>③ 自己評価と外部評価の実施による園保育の質の向上 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検を実施し、外部評価を受け、園保育の質の向上を図る。
<p>2 柔軟性のある教育プログラムの構築</p>	<p>【大学】</p> <p>① 多様な学生の受け入れの検討 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化する入学者の学力保持のため、「入学前教育プログラム」を実施し、検証する。 ・在学生の基礎学力維持のため、「基礎学力テスト」と「フォローアップ講座」を実施し、その有効性について検証する。 ・「高等教育の修学支援新制度」の対象機関の継続認定のための申請を行う。 <p>【短大】</p> <p>① グローバル化に対応した科目の充実 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短大保育科のグローバル化への対応のため、保育現場で必要とされる英語力について検討する。 <p>② 高校生参加促進のための保育科行事の外部開放 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短大保育科の学修活動の理解を深めるため、「身体表現発表会」等の学修成果の高校生への公開の促進と検証を行う。

	<p>【中学・高校】</p> <p>① 多様なニーズに応える教育と新しい教育プログラムの実施 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中高の教育の活性化のため、3つの教育プログラム（「生徒の進路に沿った選択科目の設定等の教育内容の充実」、「中学21世紀ワールドスタディーズ（学年横断型授業）」、「高校のライフデザイン「Komajo Quest」」）を推進する。 <p>② ICT教育の実施 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板・iPadのアクティブラーニングで有効活用する。 ・ 「情報」の授業でのパソコン対応・オンライン学習を充実する。 <p>④ グローバル教育の充実 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中高の英語の授業改革を行い、GTEC・英検に対応する。 ・ 夏期英語研修のプログラムを見直す。 ・ TGG英語研修を拡大し、英語教育を充実する。 <p>【幼稚園】</p> <p>① 年間保育プログラムの見直しと実施 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会などの園行事の運用の見直しを行う。
将来的展望	2020年度の行動計画
1 IT教育の充実	<p>【大学】</p> <p>① IT教育環境の整備の検討 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無線Wi-Fi設備の導入と教育効果について検討する。 ・ コンピュータ教室等の情報環境の充実について検討する。 ・ 人文学部メディア表現学科実習室等の機材活用の方策について検討する。 <p>【短大】</p> <p>① 学生のパソコン技能向上のための教育の充実 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短大保育科の学生のパソコン技能向上のための授業外学習を充実する。 <p>【幼稚園】</p> <p>① 幼稚園文書のデジタル化 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノートパソコンの増設による園文書のデジタル化を進め、業務時間の改善を図る。 <p>② IT環境を活用した保育内容の充実 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園の保育活動へのIT環境の整備について検討する。

2 グローバル教育の充実	【大学】
	① グローバル化社会に対応した教育内容の検討 【2020年度の重点項目】 ・ 政府のSDGsをふまえ、グローバル化に対応した新教育体制や科目を検討する。
	【短大】
	① グローバル化社会に対応した教育と実践力を高めるための教育の充実 【2020年度の重点項目】 ・ 短大保育科の海外研修の見直しやグローバル化に対する新たな取り組みについて検討する。
3 国際貢献できる人材の育成	【幼稚園】
	① 異文化理解のための保育の充実 【2020年度の重点項目】 ・ 幼児専門の英語の外部講師の採用等、園児の異文化理解のための環境整備を検討する。
	【大学・短大】
	① 国際貢献できる人材を輩出できる体制の検討 【2020年度の重点項目】 ・ 国際貢献人材育成、国際貢献に対応した新教育体制・科目等を検討する。

4 研究の充実

基本目標	社会に評価され、教育に資する最先端の研究を推進し、そのための環境を充実する。
-------------	--

行動目標	2020年度の行動計画
1 学内の研究体制の再編成と活性化	【大学】 ① 学内研究体制の再編と新たな研究体制の検討 【2020年度の重点項目】 ・ 本学の特色を生かした、新たな共同研究体制の在り方を検討する。 ・ 学内の研究活動を集約し、学内研究体制の再編を検討する。
	【短大】 ① 研究成果の学内共有化と発信 【2020年度の重点項目】 ・ 研究成果の学内共有化と学外への発信を検証し、教員の研究活動を活性化する。 ・ 学内研究発表会を開催し、教員の学術的情報の共有化を進展させる。 ② 類似する専門分野の情報交換の活性化 【2020年度の重点項目】 ・ 類似する専門分野の教員の情報交換を密接に行い、短大保育科の教育・研究活動を充実する。
2 中高幼の教育研究・研修の充実	【中学・高校】 ① 教務研修会（外部講師を含む）・教員研修会の実施 【2020年度の重点項目】 ・ 中高の学校改革等に関する教務研修会・講演会を開催し、中高の教員の教育研究活動の充実を図る。 ・ 教務研修会・講演会の効果について、検証する。
将来的展望	2020年度の行動計画
1 国際的学术交流の見直し	【大学】 ① 国際的学术交流の見直し 【2020年度の重点項目】 ・ 国際的学术交流の活性化のため、国際交流費支給制度・在外研究員制度の学内周知と、本学の国際的学术交流の方針、実施体制等を検討する。
	【短大】 ① 国際的学会への参加の促進 【2020年度の重点項目】 ・ 国内外で開催される国際的学会への参加を促進し、国際的学术交流を進展させる。
2 学内研究助成の見直し	【大学】 ① 若手研究に対する研究助成の検討 【2020年度の重点項目】 ・ 学長裁量経費を活用した若手研究を検討する。 ・ 若手研究の助成制度の公平な運営のための基準を検討する。
	【短大】 ① 保育科内で組織する研究助成のための枠組みづくりの検討 【2020年度の重点項目】 ・ 学長裁量経費を活用した研究活動を検討する。 ・ 若手研究の助成制度の公平な運営のための基準を検討する。

5 学生・生徒・園児支援体制の充実

基本目標	学生・生徒・園児の学修（習）、生活、進路、情報環境について、思いやニーズに合った支援システムを充実する。
------	--

行動目標	2020年度の行動計画
1 学修（習）環境支援の充実	<p>【大学・短大】</p> <p>① 学生の能力に応じた補習教育・補充教育の実施 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の英語と社会科の学力向上のため、指導員の確保と講座の充実を図る。 ・ 重点的に取り組む検定および対策講座を設定し、基礎ゼミおよび専門科目の教員と連携を図り、学修支援を強化する。 ・ 教職課程、教員採用試験の情報・書籍等を整備し、教職課程支援の環境を充実する。 ・ 学修支援センターの学生への周知徹底のため、利用学生からの報告・感想等を発信する。 ・ 入学前教育プログラム課題・共通課題の精査と見直しを行う。 <p>② 多様な学生（社会人・留学生・障がいのある学生）に対する学修支援 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 留学生に対する地震発生時の学内避難場所を周知する。 ・ 障がいのある学生の学内の移動支援機材を充実する。 <p>③ 学生の就学状況の把握と留年・退学の防止 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担任制、スチューデント・プロフィールを活用し、教員および関連部署の連携により、適正な学生の就学支援を行う。 <p>④ 学生への経済的支援体制の充実 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般学生に対する本学の就学の経済的支援を検証し、新たな経済的支援の在り方を検討する。 ・ 在学生スカラシップ制度について、効果的に学修意欲を高められる制度への移行を検討する。 <p>⑤ 図書館・ラーニングコモンズ利用のための改善 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館内に学修スペースを増設し、ICTを活用した教育環境を整備する。 <p>⑥ 地域産業界等と連携した実践的PBL（課題解決型学習）の実施 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の特色となる、授業と連携した産官学連携活動を推進する。 <p>⑦ 学生の要望に対応した学修支援の実施 【2020年度の重点項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業アンケート・卒業年次アンケートを実施し、多様な学生の要望に応える学修支援を行う。

	<p>【中学・高校】</p> <p>① 校内の学習環境の整備 【2020年度の重点項目】 ・ 自習室、イングリッシュ・ルームの運用と施設・教材の充実を図る。 ・ 学修支援センターとの連携による大学生ボランティアの登用と、中高の教育環境の充実を図る。</p> <p>② クラブ活動の充実 【2020年度の重点項目】 ・ クラブ活動の充実のため、活動費等の予算化を検討する。</p> <p>③ 個人面談の充実 【2020年度の重点項目】 ・ 個人面談の実施により、生徒・保護者との信頼関係を構築し、生徒の不安解消を図る。</p> <p>【幼稚園】</p> <p>① 保育教材等の物的環境の整備強化 【2020年度の重点項目】 ・ 園庭・ホールの固定遊具等の安全点検と修繕を行う。</p> <p>② 短大保育科との連携による保育内容の充実 【2020年度の重点項目】 ・ 短大保育科との連携により、園の保育内容を充実する。 ・ 短大保育科の教員・学生の受け入れ体制を改善する。</p> <p>③ 多様な園児・保護者への支援体制の充実 【2020年度の重点項目】 ・ 特別に支援が必要な園児・保護者、多様な文化的背景のある園児・保護者への支援を充実する。</p>
2 生活環境支援の充実	<p>【大学・短大】</p> <p>① 学生支援体制の強化 【2020年度の重点項目】 ・ 担任・学生支援関連部署等の連携を強化し、適切、かつ迅速なる学生支援体制を進展する。</p> <p>② ハラスメント防止のための施策検討・啓発 【2020年度の重点項目】 ・ ハラスメント防止および適切な対応のための体制を維持する。 ・ 全教職員へのハラスメント防止の注意喚起を行う。</p> <p>③ 学生の心身の健康、保健衛生及び安全確保 【2020年度の重点項目】 ・ 学生相談室へのカウンセラーの増員と保健室への常勤看護師を配置する。</p> <p>④ 学生の正課外活動（部活動、ボランティア等）を充実させるための支援の実施 【2020年度の重点項目】 ・ 学生主体のボランティア活動が行える仕組みを検討し、実施する。</p> <p>⑤ 学生の要望に対応した学生生活支援の実施 【2020年度の重点項目】 ・ 学生から寄せられた要望を精査・検討の上、実現可能なものから実施する。</p>

	<p>【幼稚園】</p> <p>① 幼稚園備品等の物的環境の整備強化 【2020年度の重点項目】 ・ 正規の幼稚園職員を採用し、備品管理を徹底する。</p>
3 学生・生徒の進路に関する支援の実施	<p>【大学・短大】</p> <p>① 学生のキャリア支援を行うための体制の整備と学内連携の強化 【2020年度の重点項目】 ・ 就職支援システムのバージョンアップを行う。</p> <p>② 進路選択に関わる学生支援の充実 【2020年度の重点項目】 ・ セミナースケジュールを見直し、就職活動の早期化に対応する。</p>
4 情報環境支援の充実	<p>【大学・短大】</p> <p>① 学生の視点に立ったICT環境の検討 【2020年度の重点項目】 ・ 丸善雄松堂の学修支援プラットフォーム（EduNavi）を導入し、運用する。 ・ 無線Wi-Fi導入に向け、統括する部署・導入目的・予算について検討する。</p> <p>【中学・高校】</p> <p>① 危機管理連絡網とコミュニケーションツールの環境整備 【2020年度の重点項目】 ・ Fair Cast (NTTDate学校連絡網)、Classi (学校支援クラウドサービス) の円滑なる運用。</p> <p>【幼稚園】</p> <p>① 幼稚園教職員用PCの設置と活用 【2020年度の重点項目】 ・ 学園ネットワークシステムとの連携を検討し、実施する。</p> <p>② 事務作業効率化に向けた幼稚園のIT環境整備 【2020年度の重点項目】 ・ 幼稚園の教職員のパソコンのスキルアップと保育にIT教材を導入し、活用する。</p>
将来的展望	2020年度の行動計画
1 特色ある支援体制の確立	<p>【大学】</p> <p>① テーラーメイド教育による総合的学修支援の充実 【2020年度の重点項目】 ・ 将来的な学生支援の在り方について検討する。</p> <p>【短大】</p> <p>① 実習園と連携した学生の学修機会の提供 【2020年度の重点項目】 ・ 短大保育科全教員による実習に関する情報の共有化を図る。 ・ 学生への一貫性のある実習指導を行う。</p> <p>【幼稚園】</p> <p>① 幼稚園の保育内容の充実のための大学・短大・事務局との連携強化 【2020年度の重点項目】 ・ 幼稚園と大学・短大・事務局との将来的な連携の在り方について検討する。</p>

6 経営改革

基本目標 教職員のコスト意識を向上させ、単年度ベースでの収支バランスの均衡を期間内に達成する。

行動目標	2020年度の行動計画
1 経営ガバナンスの強化	<p>【法人】</p> <p>① 前年度実績に基づいた事業計画の策定と実行 【2020年度の重点項目】 ・ 前年度実績を踏まえ、各設置校・事務局で作成された事業計画を基に、厳格な予算編成を行い、予算を執行する。 ・ 年度末に予算実行の総括を行い、支出超過の状況を把握し、改善策を講じる。</p> <p>② ガバナンス・コンプライアンス体制の強化 【2020年度の重点項目】 ・ 学園内のコンプライアンス体制を強化し、監事監査充実のための組織対応を検討する。</p> <p>③ 内部監査の適正なる運用 【2020年度の重点項目】 ・ 内部監査の機能強化のための組織づくりを検討し、実施する。</p>
2 財務状況の改善	<p>【法人】</p> <p>① 人件費の抑制 【2020年度の重点項目】 ・ 人件費の管理体制・責任部署を明確にし、給与体系の見直しを行う。</p> <p>② 財務分析の実施による財務状況の改善 【2020年度の重点項目】 ・ 収支改善に向けた給与水準、諸手当の見直しを行う。</p> <p>③ 予算編成におけるヒアリング強化 【2020年度の重点項目】 ・ 予算編成におけるヒアリング強化のため、人事管理体制の見直しを行う。</p>
将来的展望	2020年度の行動計画
1 学内施設設備の改修・更新の年次計画策定	<p>【法人】</p> <p>① 中長期にわたる学内施設設備の修繕年次計画の策定 【2020年度の重点項目】 ・ 設備施設の修繕年次計画の策定のための体制を整備する。</p>

7 人材の確保と育成

基本目標 学園の永続的発展のため、有能な人材の適切な年代構成に配慮した採用及び育成システムを構築する。

行動目標	2020年度の行動計画
1 教職員の意識向上と育成	【法人】 ① 全学的なFD・SD活動の活性化 【2020年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学園への帰属意識の向上、学園を取り巻く課題や学園人として必要とされるスキル・資質の向上のために、全教職員に対するFD・SD研修会を実施する。 ・ 本学の教員として必要とされるスキル・資質の向上のため、必要に応じて外部研修会への参加を促す。 ・ 本学の職員として必要とされるスキル・資質の向上のため、JMASDフォーラム（日本能力協会）のセミナー等の外部研修会に職員を積極的に派遣する。 ② 人事評価の評価基準等の見直しと実施 【2020年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員評価制度の公平な評価のため、評価者の研修会を実施する。
	【大学・短大】 ① 適正かつ計画的な教員の配置 【2020年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学人間総合学群の教員一人当たりの学生数から生じる問題について分析し、改善する。
	【中学・高校・幼稚園】 ① 教員の資質向上 【2020年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員研修会・教務研修会を実施し、教員のスキル・資質の向上を図る。
2 適切な人材確保と配置	【事務局】 ① 事務局の適切な人材確保の制度の整備 【2020年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな事務体制に基づいた職員の採用管理と定着管理制度を確立する。 ② 事務局各部署の職員配置の見直しと業務の効率化 【2020年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務組織の一部改編のため、新たな人事配置を行う。 ③ ジョブローテーションを意識した事務局職員の配置 【2020年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な人事異動による、職員の事務各部署業務の理解の向上を図り、事務部署間の円滑なる業務連携を促進し、全学的な業務の効率化を図る。 ・ 新卒採用職員の定期的移動について検討する。
	【大学・短大】 ① 各設置校の教育内容等に応じた適正な教員の採用と配置 【2020年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各設置校の教育内容等に応じた適正な教員の採用と配置を検証する。
	【中学・高校】 ① 生徒数・教育内容に応じた適正な教員の採用と配置 【2020年度の重点項目】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の教員の人事配置の変更と新任教員への研修を実施し、即戦力となる人材育成を行う。

	【幼稚園】 ① 園児数・保育内容に応じた適正な教員の採用と配置 【2020年度の重点項目】 ・ 特別支援の幼児に対する加配教員と退職にともなう正規職員の補充を行う。
将来的展望	2020年度の行動計画
1 専門性・創造性・自主性を備えた職員の育成	【事務局】 ① アドミニストレーターの育成 【2020年度の重点項目】 ・ 職員個々のスキル・経験に応じた業務に配置し、各自の専門性を高め、複雑化する業務に対応可能な人材を育成する。
2 職務に応じた給与体系の確立	【法人】 ① 給与体系の抜本的な見直し 【2020年度の重点項目】 ・ 「職務内容・業務体系の洗い出し、整理」「人事評価制度の検証」「給与・諸手当の見直し」を段階的、体系的に実施する。

8 危機管理体制の確立

基本目標	学園生活において、安心、安全を保つため、想定されるあらゆる危機に即応できる管理体制を整える。
-------------	--

行動目標	2020年度の行動計画
1 リスクマネジメント体制の強化	【法人】
	① 防災マニュアルの見直しと全学的・恒常的な避難訓練の実施 【2020年度の重点項目】 ・ 防災マニュアルの見直しを行い、全学的な防災意識の向上を図る。 ② 多様な情報社会に対するセキュリティーシステムの管理体制の見直し 【2020年度の重点項目】 ・ 災害発生時の学生・生徒・園児の安全確保等の全学的危機管理体制を検証し、課題点を改善する。
2 教職員の安全衛生管理の推進	【法人】
	① 教職員の安全衛生管理意識の向上 【2020年度の重点項目】 ・ 定期健康診断受診者数10割を恒常的に達成する。 ・ ストレスチェック受信者数9割を恒常的に達成する。 ・ 普通救命講習受講者数7割を達成する。
将来的展望	2020年度の行動計画
1 災害時の地域連携の検討	【法人】
	① 災害時における地域との連携の検討 【2020年度の重点項目】 ・ 災害発生時における稲城市との連絡窓口・担当者を決定し、相互に確認する体制を整備する。
2 危機管理に関する委員会の整備	【法人】
	① 危機管理に関する委員会の再編と関連諸規程の見直し 【2020年度の重点項目】 ・ ハラスメント委員会、苦情処理委員会等の再編と関連諸規程の見直しを行う。 ・ 危機管理マニュアルを改訂する。

9 ステークホルダーとの連携強化

基本目標	ステークホルダーである卒業生及び保護者から信頼される、開かれた学園にする。
-------------	---------------------------------------

行動目標	2020年度の行動計画
1 同窓会の組織再編と活性化支援	【大学・短大】 ① 同窓会組織の再編と活動支援体制の構築 【2020年度の重点項目】 ・ 同窓会の組織改編と同窓会活動を検討する。
	【中学・高校】 ① 明星会の活動の活性化 【2020年度の重点項目】 ・ 明星会の活性化のために、りんどう祭での卒業生の集い（「25歳の集い」）を開催する。
	【幼稚園】 ① 幼稚園同窓会組織の整備と情報発信 【2020年度の重点項目】 ・ 学生・生徒募集のため、卒園生名簿を作成する。
2 卒業生との連携強化	【大学・短大】 ① 卒業生とのつながりを維持するための行事の実施 【2020年度の重点項目】 ・ 卒業生との連携強化のために、同窓会活動への参加呼びかけの方法を検討する。 ・ 正課授業の招聘講師への卒業生の登用を検討する。
	【幼稚園】 ① 卒園生との連携強化 【2020年度の重点項目】 ・ 卒園生との連携強化の意義・利点、卒園生との連携強化を図るための方策を検討する。
3 保護者との連携強化	【大学・短大】 ① 連携行事・相談会等の実施による保護者との連携強化 【2020年度の重点項目】 ・ 保護者との連携強化の意義・利点を検討する。
	【幼稚園】 ① 保護者と園の連携強化 【2020年度の重点項目】 ・ 保護者と園の連携強化のための方策を検討し、実施する。

将来的展望	2020年度の行動計画
1 駒沢学園同窓会組織の確立	<p>【法人】</p> <p>① 一元化された同窓会組織の確立（大・短・高・中・幼） 【2020年度の重点項目】 ・ 同窓会組織の一元化のために、大学・短大の同窓会と中高同窓会（明星会）との合同企画を検討する。</p> <p>② 帰属意識を高めるための情報発信ツールの確立 【2020年度の重点項目】 ・ 帰属意識の向上のために、同窓会講演会等を開催する。</p>
2 同窓会事務及び集える場所の整備	<p>【法人】</p> <p>① 一元化された同窓会事務局の確立（大・短・高・中・幼） 【2020年度の重点項目】 ・ 学園として一元化された同窓会組織の設立のための方策を検討する。</p>

10 地域連携

基本目標 総合学園としての資源、機能を生かし、地域のニーズに即した発信型の地域連携を展開する。

行動目標	2020年度の行動計画
1 地域連携の推進	【大学】 ① 学外組織との適切な地域連携の推進 【2020年度の重点項目】 ・ 本学の特色を生かした地元自治体・企業との産官学連携の事業を進展する。 ② 学園の資源、機能を生かし、地域のニーズに即した発信型の地域貢献 【2020年度の重点項目】 ・ 本学の特色や専門分野を生かした新たな地域貢献活動を展開する。 ③ 地域交流・地域の国際交流事業への学生参加 【2020年度の重点項目】 ・ 学生主体とするボランティア組織と地域連携のための学内組織を整備する。 ・ ボランティアに対する本学の方針と責任の明確化と活動費用の予算化を検討する。 ・ 地域の要望に応じた学生のボランティア活動を充実する。
	【短大】 ① 地域交流・地域の国際交流事業への学生参加 【2020年度の重点項目】 ・ 学生主体とするボランティア組織と地域連携のための学内組織を整備する。 ・ 本学のボランティアに対する方針と責任の明確化、また活動費用の予算化を検討する。 ・ 短大保育科の特色を生かしたボランティア活動を行う。
	【中学・高校】 ① 中高の特色を生かした地域連携 【2020年度の重点項目】 ・ りんどう祭での稲城市福祉協議会直営「エイトピア工房」との連携を進める。 ・ 書道展開催による稲城市内小・中学校との連携を深める。 ・ 稲城市内のボランティア清掃を実施する。 ・ 中高の地域連携の活性化のために、新たな取り組みを検討する。 ② 中高の生徒募集と地域連携 【2020年度の重点項目】 ・ 近隣中学校への出前授業の実施と学校説明会への積極的に参加する。 ・ 学外の小・中学校の児童・生徒を対象とするクラブの講習会を開催する。 ・ 中高の生徒募集に効果のある地域連携の新たな取り組みを検討し、実施する。
	【幼稚園】 ① 幼稚園の特色を生かした地域連携 【2020年度の重点項目】 ・ 地域教育懇談会との連携強化を図る。 ・ 地域防犯活動等の地域ボランティア活動への協力を検討する。

将来的展望	2020年度の行動計画
1 地域連携の組織づくり	【全学】
	① 全学的な地域連携体制づくりのための検討 【2020年度の重点項目】 ・ 地域連携部門の設置について検討する。
	【幼稚園】
	① 幼児教育の拠点としての体制づくりのための検討 【2020年度の重点項目】 ・ 幼稚園の特色や実績を分析し、幼児教育の拠点としてどのような役割を担えるか検討する。

学校法人駒澤学園 中長期計画

第2次 中期計画

(2019年4月～2024年3月)

【2020年度 行動計画】

学校法人駒澤学園

2020年4月1日